

「平和利用」——
それならよいと、思っていたのに。

原発のない社会を目指して
映画祭 第三回



～瑠衣子 長崎の祈り～

「長崎を最後の被爆地に。」
放射能の恐ろしさをいちばん知っていたはずの日本人が、
なぜ福島事故を起こしてしまったのか？
そしてなぜ今も原発にこだわるのか？
長崎の被爆3世の瑠衣子はこの疑問を胸に、福島・青森の
原子力の平和利用の現場を旅する。
旅のなかで瑠衣子は、日本が大量のプルトニウムを保有していることを知る。
…いったいなぜ？
やがて瑠衣子は、政治家たちが隠してきたある事実を知ることになる。
長崎に生まれた者として、決して許せない事実を…。
プルトニウムがつなぐ長崎・福島・青森、そしてアメリカ。
瑠衣子の旅を追ったロードムービー。

2016年12月13日(火) 10時～12時
せんだいメディアテークにて上映
一般：1000円(定員180名・18歳未満無料・予約優先)





原発のない社会を目指して映画祭第三回「アトムとピース」
2016年12月13日(火) 10時～12時(開場 9:30)
せんだいメディアテーク7階 スタジオシアター



長崎から、福島 そして青森へ。

原爆と原発の関係を巡る旅のはてに、瑠衣子が見出すものは——

長崎で生まれ育った23歳の松永瑠衣子は、被爆者の祖母を持つ被爆三世。原発はわずかな資源で膨大なエネルギーを生み出せる素晴らしい発電方法だと習い、そう信じてやまなかった。2011年3月11日、あの事故がおこるまでは。瑠衣子は旅の中で様々な立場の人々と出会う。福島の仮設住宅に暮らすお年寄り、原発建設に反対する為に今も建設予定地に暮らす女性…そして「日本の原子力の父」と呼ばれる人物と向き合う。映画では並行して数々の政治家にも接触。なぜこれ程まで日本に原発が作られたのか、その背景が明かされる。

出演：菅 直人(第94代内閣総理大臣) リチャード・アーミテージ(米国元国務副長官) 他



©2015ソネットエンタテインメント/AMATELAS

■入場料

一般：1,000円(18歳未満無料)

*当日会場にてお支払ください。

■お申込み・お問い合わせ

*お申し込みは電話または公式サイトから
生活協同組合 あいコープみやぎ

TEL：0120-255-044

FAX：0120-849-324

<http://www.mamma.coop>

*定員180名・予約優先

満席でない場合は当日受付も行います。

■主催：

生活協同組合あいコープみやぎ
脱原発・エネルギーシフト委員会

■アクセス



仙台市営地下鉄
南北線
「勾当台公園」
「公園2」出口より
約6分

仙台市営地下鉄 東西線「大町西公園」
「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分



「アトムとピース」公式サイト
<http://atomtopeace.com/>
予告編が見られます